

静岡県沼津市における森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～ 令和5年度	令和6年度	計	令和6年度末 時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（千円）	28,423	48,609	77,032	41%	・森林経営管理制度を活用した森林整備 ・森林環境教育に資する里山環境の整備 （香貫山）
譲与額（千円）	142,327	43,672	185,999		

■令和6年度の具体的な活用状況

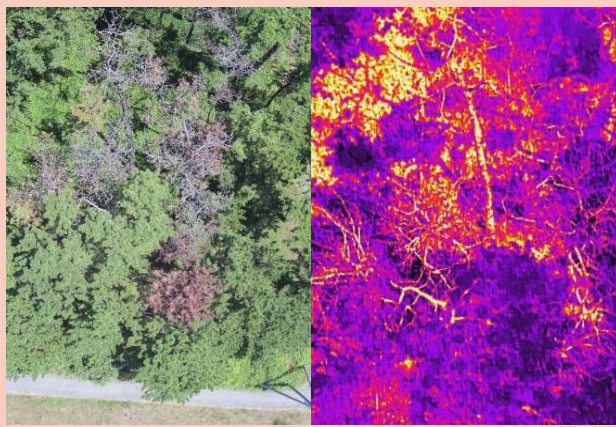
区分	事業区分	事業費（千円）		事業内容
			うち 森林環境譲与税	
森林整備	意向調査、集積計画等作成	5,940	5,940	森林経営管理制度に基づく意向調査等
	環境伐	5,478	5,478	森林経営管理制度に基づく環境伐
	森林保護対策	26,730	8,809	千本保安林における松の材線虫防除
		4,565	4,565	千本保安林における松枯れ調査
		2,030	2,030	千本保安林保護育成
		15,978	15,978	香貫山における森林整備等
木材利用	木材利用・普及啓発	2,199	2,199	木製玩具の作成・配布
		3,520	3,520	市内小学校の木製清掃用具入れの作成
人材育成	木材利用・普及啓発	90	90	市内小学生向けに森林環境教育講座を実施
基金積立		0	0	
合計		66,530	48,609	

■今後の実施計画

- ・森林経営管理制度を活用し、意向調査・現地調査及び集積計画の作成を進め、私有林の整備進捗を図る。
- ・香貫山の植物について学ぶ機会の提供や遊歩道の巡視・管理を実施し、森林環境教育の場として保全していく。

ドローンを使った松枯れ調査

【事業の概要】	市内の千本松原を守る事業の一環として、「松くい虫」の被害に遭った松を伐倒し、被害が広がらないようにしています。これまでは広い面積で目視による被害調査をしていましたが、短期間かつ正確に把握するために、ドローンで上空から撮影することで効果的な調査を実施しました。
【事業名】	令和6年度 千本松原他松枯れ調査業務委託
【事業費】	4,565千円（全額譲与税）
【事業内容】	サーマルカメラ搭載ドローンによる空撮・松脂滲出量による調査、およびデータ解析
【特徴】	松くい虫の被害に遭っている松は道管（水の通り道）が詰まってしまうため、松の中での水の循環が悪くなり、松の温度が健康な木に比べて高くなります。また、枯れた松の葉は緑色から赤色に変化します。 この調査では、サーマルカメラによる温度の確認と、上空からの撮影により色の変化を効率的に確認することができました。



森林経営管理制度に基づく環境伐

【事業の概要】	市内には手が付けられずに放置された森林が多くあります。このような森林については、所有者の同意を得て集積計画を策定することで、市が森林整備を行うことが出来ます。 令和6年度は4.765haの森林において、森林の密度を調整する「切捨間伐」を実施しました。
【事業名】	令和6年度 森林経営管理制度に基づく環境伐業務委託
【事業費】	5,478千円（全額譲与税）
【事業内容】	森林経営管理制度に基づく経営管理権集積計画の策定箇所における保育間伐
【特徴】	手が付けられずに放置された森林は、木が大きくなりすぎていたり本数が多すぎたりする場合があります。こういった森林を適切に管理することで、森林が持つ機能を守ることができます。 同意取得から伐採までをそれぞれ業者に委託することで、業務を効率的に進めました。

